

## 意見書を国会と政府の関係機関へ提出しました

### コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染症拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

#### 記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、地方自治体の財政に支障のないように対応すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、新型コロナウイルス感染症による社会情勢に配慮して対応すること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、新型コロナウイルス感染症による社会情勢に配慮して対応すること。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月16日

和歌山県日高川町議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、  
内閣官房長官、経済再生担当大臣



■結果  
採決の結果、賛成少数で「否決」とした。

■提出者・賛成者  
提出者 原 孝文議員  
賛成者 山本喜平議員

沖繩戦没者の遺骨等  
を含む土砂を埋立てに  
使用しないよう求める  
意見書

意見書の審議

## 紀伊半島大水害 10年追悼式典

9月4日に日高川交流センターで紀伊半島大水害10年追悼式典が行われ、議員全員が出席しました。

追悼の辞で議長は、「私たち議会は、常にベストを尽くし、紀伊半島大水害の経験を忘れることなく、住民の生命と財産を守るべく防災対策の充実に全身全霊邁進して参る覚悟でございます。」と述べました。



追悼の辞(議長)



式辞(町長)

### 全議員研修会参加

10月1日に串本町文化センターで和歌山県町村議会全議員研修会が開催されました。

法政大学デザイン工学部教授の川久保

俊氏の「持続可能な開発目標を活かしたまちづくり」をテーマにした講演を聴きました。



8月は中旬以降、長雨が続きましたが、9月には天候が持ち直し、無事秋の収穫が進んでいるようですね。

ただ、温州みかんは秀品率が低下しています。何もかもがそう上手くいくはずはありません。

土木業も農業も、たとえ暑くとも天候に恵まれない限り、仕事ははかどりません。

「いつまでもあると思うな親と金」「無いと思うな運と災難」という言葉があります。

蜂の巣が高い所にある今年は、風水害に要注意ですが、これ以上の風水害がないことを祈るばかりです。

自分の身は自分で守る「自助」を念頭に、危険を感じた場合は素早く行動に移すことが大事です。常にこのことを意識付けるようにしてください。

最後に、昨年来世界中に蔓延したコロナウイルス。第5波で収束してくれることを心から願っています。

(堀江 才二)

